

令和5年度第3回

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会 総会 議事録

【日 時】 令和6年（2024年）3月27日（水） 11:00～11:30

【場 所】 ホテル札幌ガーデンパレス（北海道札幌市中央区北1条西6丁目） 2階 丹頂

【議 事】 第1号議案 令和5年度（2023年度）事業報告、決算及び監査報告について

第2号議案 残余財産処理案について

第3号議案 解散決議案について

（事務局（北海道）／榎観光振興監）

- ・ただ今から、令和5年度第3回アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会総会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、北海道経済部観光振興監の榎でございます。どうぞよろしくお願いたします。
- ・本日の総会でございますが、委員23名中、8名の代理出席と、5名の委任状提出を含め、22名のご出席をいただいております。バス協会様は急遽、ご欠席ということで、22名のご出席となっておりますことをご報告申し上げます。
- ・それでは、開会に当たりまして、アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会の会長であります、鈴木知事より、ご挨拶を申し上げます。

（北海道／鈴木知事）

- ・会長を務めさせていただきました北海道知事の鈴木直道でございます。本日は、皆様、年度末の本当にお忙しい中、ご出席いただき心から感謝を申し上げます。
- ・アジアで初めての開催となりました「アドベンチャートラベル・ワールドサミット」でございますけれども、2021年のバーチャル開催と昨年のリアル開催を成功裏におえることができました。令和2年4月に実行委員会を設立して以来、皆様からいただいていた多大なるご支援とご協力に、改めて厚くお礼申し上げます。
- ・昨年9月の実際のサミットでは、世界各地からご参加いただいた多くの皆様に、体験ツアーなどを通じて北海道の魅力を直接体験していただくことができました。我々が大変嬉しかったのは、過去19回のATWSの中でも、最も高い評価をいただいたと聞いており、北海道がアドベンチャートラベルの適地であることを広く発信することができたのは大変意義深かったと考えております。
- ・また、商談会や海外メディアとの交流会などを通じて、新たなネットワークを構築することができました。本道におけるアドベンチャートラベルを加速する、大きな成果をもたらしたものと考えています。
- ・そして、サミットの成果を発展させていくために、主催団体であるATTAと本実行委員会との連名で「共同ステートメント」を発表させていただきました。世界における北海道そして日本のアドベンチャートラベルの地位を確立していく、その確固たる決意を世界にも発信

し、機運をさらに醸成することができました。

- ・本日は、こうしたATWS 2023の開催の成果を報告させていただきます。実行委員会としての役割は本日で終わることになりますけれども、今後とも、アドベンチャートラベルを本道観光の柱にしていかなければならないと考えておりますので、オール北海道で取組を進めてまいりたいと考えております。今後とも、お力添えを賜るようお願い申し上げます。
- ・本日は、限られた時間ではございますけれども、是非、皆様からの忌憚のないご意見をいただいて、今後の取り組みに生かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。本当に皆様、ありがとうございました。

(事務局(北海道)／榎観光振興監)

- ・鈴木知事は、用務の都合上、ここで退席をさせていただきます。
- ・それでは、早速議事に入らせていただきます。本日の議題は、お手元の資料にありますとおり、議題1として「令和5年度の事業報告、決算及び監査報告について」、議題2といたしまして「残余財産処理案について」、議題3といたしまして「解散決議案について」の3点でございます。実行委員会事務局長を務めております、道経済部アドベンチャートラベル担当局長の後藤より、一括してご説明させていただきます。

(事務局(北海道)／後藤アドベンチャートラベル担当局長)

【第1号議案 令和5年度(2023年度)事業報告、決算及び監査報告について】

- ・それでは、第1号議案「令和5年度事業報告について」、まず主なものを説明させていただきます。資料1-1をご覧ください。
- ・「各事業の内容」の1「ATWS2023 実施運営事業」については、会場設営や食事の提供、レセプションの開催や招待者が宿泊するホテルなどの確保を行い、サミットの円滑な運営に向けた取組を行いました。2の「ポストサミットアドベンチャー実施運営事業」では、ATWSが終了した翌日からメディア・バイヤーを招聘し、ポストサミットアドベンチャーを釧路、十勝、北宗谷、上川の4地域において開催いたしました。この他、昨年5月にアメリカ・ポートランドで開催されたアドベンチャーエレベイトへの出展によるATWS 2023のPRや、広報宣伝活動を実施するとともに、スポンサー獲得に向けた取組を行い、36の企業・団体様からご支援をいただきました。また、3ページから6ページにかけては、各委員の皆様が取組もまとめておりますので、後ほどご確認ください。
- ・ここで、実際のサミットの様子につきまして、動画をご覧頂きながら、ご説明させていただきます。

※ 動画視聴(約5分)

- ・簡単ですが、動画でご紹介させていただきました。なお、皆様にはお手元に「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本 開催の記録」の冊子を置かせていただいております。お時間のあるときに、アンケート調査なども掲載されておりますので、ぜひご覧いただければと思います。
- ・続きまして、「令和5年度の決算」についてご報告いたします。資料1-2の決算案をご覧ください。

ださい。

- ・先日程行われた幹事会でもご承認いただいておりますが、収入の部は、前年度繰越金、自治体からの負担金収入、協賛金など、支出の部は、サミットの大会運営やポストサミットアドベンチャーの実施などを中心とする事業費に、事務局経費が加わっております。収入・支出とも、予算額3億232万2,000円に対し、決算額2億8,183万9,520円となります。なお、「3その他(予備費)」2,326万585円を剰余金として、「第2号議案 剰余財産について」において処理いたします。また、本決算案については、先日、監事の北海道経済連合会様、北海道経済同友会様に監査を行っていただき、資料1-3「監査報告書」のとおり、適切であると認めていただいております。

【第2号議案 剰余財産処理案について】

- ・続きまして、第2号議案「剰余財産処理案」について、資料2「剰余財産について」をご覧ください。
- ・「剰余金」2,326万585円につきましては、これまでの負担割合に応じて、北海道、札幌市、釧路市にそれぞれご返還させていただきます。返還総額は、それぞれ、北海道へ1,528万7,008円、札幌市へ776万8,504円、釧路市へ20万5,073円となります。
- ・続きまして、「剰余物品等」についてです。会長印および事務局印は他に転用することができないため、廃棄いたします。動画とロゴに関するデータ及び使用権は、北海道観光振興機構へ引き継ぎ、記録誌や会計等文書、資料等につきましては、今後の記録・保存・有効活用の観点から、北海道へ引き継ぐことといたします。

【第3号議案 解散決議案について】

- ・次に、第3号議案「解散決議案」についてです。
- ・資料3の「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会の解散について」をご覧ください。
- ・本総会で第1号議案及び第2号議案が承認された場合、アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会の目的は達成されたと認められることから、規約第17条に基づき、本実行委員会の事業を終了し、剰余財産の処分等を終えた日をもって解散することとし、お諮りいたします。
- ・最後に、参考資料「ATWS2023後の関係者連携の継続について」をご覧ください。
- ・実行委員会は解散となりますが、アドベンチャートラベルの道内定着、発展には今後も道内関係者が連携し、取組を継続していく必要があることから、ATWSの経験値を基にし、実行委員会をベースとした新たな会議体を今後設置する予定です。既に実行委員会の皆様には打診させていただいておりますが、来年度に入ってから改めてご案内させていただきます。
- ・決議事項については、以上となります。

(事務局(北海道)／檜観光振興監)

- ・ただいまご説明いたしました内容につきましては、先に開催いたしました実行委員会幹事会において、ご承認をいただいているところでございます。委員の皆様から、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
- ・それでは、ご異議なしと認め、全会一致でのご承認とさせていただきます。どうもありがとうございます。
- ・本日の議題は以上でございますが、委員の皆さまから、今後のアドベンチャートラベルの推進に向けた取組などについて、全体を通じてご発言をいただければ幸いです。
- ・まず、サミットの開催地としてご尽力いただきました札幌市・秋元市長様、よろしく願いいたします。

(札幌市／秋元市長)

- ・札幌市長の秋元でございます。アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道の開催、関係者のみなさま、本当にお疲れ様でした。
- ・札幌市におきましては、コンベンションセンターをメイン会場としまして、ホストシティとして、多くの関係者の方にお泊まりをいただくという役割を担わせていただきました。先ほど映像でも紹介いただきましたように、オープニングセレモニーを大倉山ジャンプ競技場でやらせていただきました。市の中心部から近いところにスキージャンプの競技場があるということで、皆様驚かれておられましたし、何よりも北海道の食、そして様々な文化を紹介して、札幌も200万人という人口を抱える大きな都市でありますけれども、近くにも様々な自然がある、様々な体験をする機会があるということを知っていただく良い機会になったと思っております。これは、北海道全体が持っている色々なポテンシャルの高さを改めて認識をしたと思っております。
- ・実行委員会としては閉じるということになりますけれども、今後北海道の観光の中心として、このアドベンチャートラベルの質を上げて、おもてなしの環境を整えていく必要があると思っております。参考資料にもありますように、今後の推進体制ということについても、皆様方としっかり連携を取りながら進めていければと思っておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

(事務局(北海道)／檜観光振興監)

- ・どうもありがとうございました。
- ・続きまして、ポストサミットアドベンチャーの開催地としてご尽力いただきました、釧路市・蝦名市長様、いかがでしょうか。

(釧路市／蝦名市長)

- ・釧路市の蝦名でございます。本当に素晴らしい形の中で、北海道の大会ができたということで、正に皆様の大きなお力、この中で本当に高い評価に結びついたということで、大変嬉しく思っているところでございます。

取り組んでまいりたいと思っっているところでもあります。

- ・国、そして道におかれては、地域だけではできない部分といいますか、今後もヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアなどに対しましての宣伝・売り込みなど、引き続き役割分担のもとでご実施いただけるとありがたいなと思っております。以上です。

(事務局(北海道)／檜観光振興監)

- ・ありがとうございました。
- ・続きまして、稚内市・工藤市長様、お願いいたします。

(稚内市／工藤市長)

- ・稚内の工藤です。参加自治体の長として、ここにおられる実行委員会をはじめとする皆さん、本当に大変お世話になりました。さきほどの動画にも出ていましたように、素晴らしいこの何年間だったな、と思っております。
- ・特に私ども、ポストサミットアドベンチャーのコースの一つとして、我々はよく言うのでありますが、北海道には数少ない離島を中心とした観光というものを据えながら、様々な体験をしていただく。そんな思いでポストサミットアドベンチャーにも取り組みましたけれども、まさに我々は今、その財産を次に繋げるために、このサミットを契機として、遅ればせながらではありますが、これまではどちらかと言うと東南アジアを中心とした通訳・ガイドの育成に取り組んでまいりましたが、まさに英語圏を対象とした育成が必要だということを実感しております、今それに力を入れて取り組んでいるところでございます。
- ・改めて、アドベンチャー参加者との持続的な関係を築いていきたい、さらにはアドベンチャー・トラベルの目的地として選んで頂きたい。そういう思いで、今後とも地域を挙げてしっかりと取り組んでいきたいと考えておりますので、先ほどのお話でもありますけれども、今後ともぜひこの活動の一員として連携をさせていただきたい。そう思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(事務局(北海道)／檜観光振興監)

- ・どうもありがとうございました。
- ・続きまして、旭川市・菅原部長様、よろしくお願いいたします。

(旭川市／菅原観光スポーツ交流部長)

- ・旭川市の観光スポーツ交流部の菅原と申します。今津旭川市長の代理で参りました。
- ・まずは、「アドベンチャー・トラベル・ワールドサミット北海道・日本」の開催に向けまして、御尽力いただきました委員の皆様、それから関係者の皆様に改めて感謝を申し上げたいと思います。
- ・実は、私自身もアドベンチャー・トラベルというものに関しまして、2年ほど前から関わることとなりましたけれども、当初は少し、この当地、上川・旭川・大雪圏域がそれに適した土地なんだろうかという疑問に思っていたところはございました。しかし、アドベンチャー・トラベル・ワ

ールドサミットに参加いたしましたして、特にポストサミットアドベンチャーをやらせていただいたことについて、私自身、アドベンチャートラベルというものが、この地域に、本当にポテンシャルのある土地だと改めて気づき、まさに自己変革したというような経験をしたところであります。

- ・これまでやはり、アジア圏を中心としたお客様を誘致するという一方で、一泊一泊で終了していくような観光が中心でありましたけれども、今回はポストサミットアドベンチャーの参加者の皆様からも、「もう一泊したかった」「より深く知れたかった」というような答えをフィードバックして頂いたところがございます。やはり、長く（滞在して）土地を知っていただくということが重要でありますし、知っていただいた上で、さらに何度も来ていただくことが大事だと思っております。
- ・アドベンチャートラベルというと、その「アドベンチャー」という言葉に引っ張られて、何がATなのかということをよく分かっていない市民の皆様もよくいらっしゃいます。本市としましても皆様方にATがどういうことなのか、よく存知いただいた上で、人材育成などに務めまして、これからも進めていきたいと思っております。
- ・今後もオール北海道の一員といたしまして、私どもも参加させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局(北海道)／榎観光振興監)

- ・ありがとうございます。
- ・続きまして、サミット誘致の段階から大変ご尽力をいただきました、北海道運輸局・井上局長様、よろしくお願いいたします。

(北海道運輸局／井上局長)

- ・北海道運輸局の井上です。
- ・先ほどの鈴木知事のお話にもありましたように、本当に過去のATWSの中でも最高の評価を頂いた、そんな素晴らしいアドベンチャートラベル・ワールドサミットが、ここ北海道で開催できたということを本当に嬉しく思っています。これも鈴木知事を先頭に、今日お集まりの道内関係機関の皆様一丸となって取り組んだ結果であろうと思っております。
- ・日本、とりわけ北海道が、アドベンチャートラベルのデスティネーションとして大変魅力的な所であるということを、世界中のAT関係者に、このATWSを通じて、効果的に訴求することができたことは本当に素晴らしい成果だと思います。
- ・運輸局としましては、2016年アラスカでのATWSに参加して以来、ATに関わって参りました。ATWSの一貫として実施されたプレサミットアドベンチャーでは、北海道地域が主導する形で、沖縄をはじめ、四国・九州といった他地域にも働きかけて巻き込んでいく中で、オールジャパンでATの推進の機運を高めることができました。さらに、観光立国推進基本計画の中にも、ATの推進というものが明記されることにも繋がったということで、まさに、北海道の取組が日本の観光政策をリードする、変えていく、そういった大きな成果にも繋がったと考えております。そうした意味でも北海道でのATWS、これをリア

ルで開催できたこと、そして大成功を収めたことを大変嬉しく思っております。まさに北海道の強みを生かせる持続的な旅行形態、これがATであると思いますし、今後の北海道観光の柱になると思っております。

- ・このATWS開催によって、北海道への興味、評価、これが世界中で非常に高まっていると思いますし、この機会をとらえて、引き続き、地域一丸となって、このATを強力に推進していく、取組を続けていくことが大事だと思っております。
- ・先ほど、事務局の方からも、この実行委員会は無くなるけれども、ATを推進するための連携会議はしっかりと作っていくという心強いお話もございました。本当に大事なことだと思います。北海道運輸局としましても、これまで同様に皆様と力を合わせて、北海道におけるATの推進に尽力して参りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(事務局(北海道)／榎観光振興監)

- ・ありがとうございます。
- ・続きまして、北海道経済産業局・齋藤部長様、よろしく願いいたします。

(北海道経済産業局／齋藤総務企画部長)

- ・北海道経済産業局総務企画部長の齋藤です。局長の岩永の代理で出席させていただいております。
- ・ATWS開催に当たり、実行委員会関係各位の多大なるご尽力に感謝を申し上げます。また、特に開催の実務を担われた皆さまにおかれましては、大変お疲れさまでした。
- ・当局は、アドベンチャートラベル・ワールドサミットの誘致活動初期の2017年にATTAのシャノン会長を初めて北海道に招聘するなど、北海道をATTAにプロモーションするための様々な事業を実施してきた経緯があり、足かけ7年かけてATWSが無事開催されたことには大変感慨深いものがございます。
- ・また、皆さまのご尽力の結果、ATWSの評価が大変高いものとなりましたこと、大変嬉しく思っております。
- ・ATWSは、北海道を世界にPRできた重要な機会となりましたが、一方で、今後ATを推進するに当たって、ガイドの不足等の課題も明確になってまいりました。当局といたしましても、この課題解決に資する事業に引き続き取り組んでいく所存でございます。
- ・今後も、本日お集まりの皆さまと密に連携を図りながら、北海道におけるアドベンチャートラベルを推進していきたいと考えておりますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(事務局(北海道)／榎観光振興監)

- ・ありがとうございます。
- ・本日もご出席いただいております皆様お一人お一人のご意見を頂戴したいところでございますけれども、時間も限られますことから、大変申し訳ございません。最後になりますが、実行

委員会の筆頭副会長としてご尽力をいただいております北海道観光振興機構・小金澤会長様から一言お願いいたします。

(北海道観光振興機構／小金澤会長)

- ・HTO北海道観光振興機構の小金澤でございます。各副会長から貴重な意見を頂きました。
- ・私、筆頭副会長を拝命した関係から、前年度開催のスイス・ルガーノにおきましては、翌年度開催地の代表としてのプレゼンテーションをさせていただきました。また、今回のATWSのクロージングセッションの中では、ATTAと実行委員会とも共同宣言を知事に代わりまして代表として行わせていただきました。その際に、ATTAのシャノンCEOから、冒頭の知事の挨拶にもありましたが、19回の開催の中で過去最高のサミットだという名誉な言葉をいただきました。
- ・64カ国773名の方の皆さんが一同に会しましたが、初めて日本や北海道に来た、という方が多い中で、こうした高い評価を頂いたことは、私たちの今後の糧になると思っております。
- ・シャノンCEOからは、昨年の末にも別の機会でお会いした際に、「本当に良いサミットだった、ぜひ北海道の中でアドベンチャートラベルをしっかりと根付かせて欲しい、そういった意味でもぜひ来年のパナマで開催されるサミットに招待したいので参加してほしい」と言われました。本年10月6日から10日にパナマで開催される今年のATWSにも参加をさせて頂こうと、現在調整中でございます。
- ・このアドベンチャートラベルは、我々が推進していますこれからの観光という中で大きなキーワードになってきます。議事の中でも説明のありました北海道アドベンチャートラベル推進連携会議を通じて、また北海道観光振興機構としても、アドベンチャートラベルに対して、これからもさらなる継続した取り組みを進めてまいりたいと考えております。
- ・今回の総会をもって、実行委員会は解散となり私の筆頭副会長としての役目も終えることとなりますが、本道のアドベンチャートラベルをさらに加速させていくためには、アドベンチャートラベルに関わる全ての皆様と、引き続き連携がとても重要と考えております。
- ・特に、実行委員会の下、長きにわたり様々な皆様にお力をいただきました。本日お集まり頂いた皆様には、今後とも力強いご協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきますと存じます。ありがとうございました。

(事務局(北海道)／榎観光振興監)

- ・ありがとうございました。
- ・これを持ちまして、本日の総会は終了させていただきます。本日はお忙しいところご参加いただき、誠にありがとうございました。

(了)